since 1982

長崎寄席だより vol.235

独演会

7月29日(土) 2023

開場 17:00 開演 18:00

会場／ひびきホールまいばすけっと3F

［当日プログラム］

一、落語 桂 空治
二、落語 春風亭 鴨蔵
三、落語 春風亭 柳橋
仲入り
四、マジック 藤山 大成
五、落語 春風亭 柳橋

ホール代

当日一般：3,000円
前売り・予約：2,700円
会員同伴（1名様のみ）：2,500円
常連会員：1,500円
中・高校生：1,000円
小学生：500円

ご予約方法

●インターネット
https://nagasakiyose.jimdofree.com/
上記から「お問い合せ」をクリック。
もしくは右記のQRからアクセスしてください。

●電話
☎080-3386-2952 長崎寄席世話人会（藤井）

落語 Profile 春風亭柳橋（しゅんぷうてい・りゅうきょう）

本名・竹内秀男。古河市出身。

昭和50年3月、栃木県立栃木高等学校卒業。昭和55年3月、東京経済大学経営学部卒業後、2年間サラリーマン生活を経験し、昭和57年5月、七代目・春風亭柳橋に入門。前座名はべん橋。

昭和61年9月、二つ目に昇進。柏枝を襲名。平成6年5月、真打に昇進し、平成20年9月、八代目・春風亭柳橋を襲名。

平成23年4月から27年3月まで、東京経済大学コミュニケーション学部客員教授を務める。

平成25年2月に栃木市ふるさと大使、同年5月にはいばらき大使、同年11月には栃木県野木町観光大使、平成27年10月には古河大使を拝命する。

令和元年、公益社団法人落語芸術協会副会長に就任。

落語 Profile 春風亭橋蔵（しゅんぷうてい・はしぞう）

和歌山県日高郡みなべ町出身。和歌山県立田辺高等学校卒業。

東京経済大学在学中に、当時休部状態であった落語研究会を先輩や仲間と復活させた。落研復活に際し、アドバイスをもらったのが後の師匠となる八代目・春風亭柳橋。同大学のOBでもある。

大学卒業後は都内の百貨店に就職したが、落語の面白さを忘れられず、仕事中も落語を口ずさみ寄席に通った。その後仕事をやめ、2014年、春風亭柳橋に二番弟子として入門。前座名は「かん橋」。前座時代には、長崎寄席にも何度か出演いただいている。

2018年春に二ツ目に昇進。その際に現在の「橋蔵」に改名。由来は歌舞伎役者の大川橋蔵。

趣味は、アーセナル、パンダ、サウナ、コーヒー。現在は、千葉県船橋市山野町在住。

マジック Profile 藤山 太成（ふじやま・たいせい）

1996年8月16日生まれ、大阪府出身。中央大学経済学部経済学科卒業。国の無形文化財に指定されている「手妻（和妻）」の数少ない継承者。

小学5年生のころ、テレビのマジック特番に感動し、マジックを始める。クラスでマジックを披露する時間を作ってもらうなどして、経験を積み始める。高校生からコンテストに出場するようになり、数々の賞を受賞。2018年、大学4年の頃に手妻の普及に貢献したいという思いから、手妻の大家である藤山新太郎へ弟子入りすることを決意。また、和の素養を身に着けるために藤間章吾氏の下で日本舞踊を習い始める。2019年2月　弟子修行を始める。2022年7月　弟子修行を終え、藤山姓を襲名。「藤山大成」として活動を開始する。

第13回テンヨージュニアマジシャンビデオコンテスト優秀賞など受賞歴も多数。

みんなのつぶやき… 長崎寄席雑記

八代目柳橋物語・その3

八代目柳橋の先輩　金令舎十八

令和元年6月27日、落語芸術協会の三遊亭小遊三、春風亭昇太、春風亭柳橋の三人が記者会見に臨み、そこで新役員人事が発表された。故桂歌丸会長亡き後に会長代行兼副会長だった小遊三は参事に退き、歌丸会長の後任に昇太、小遊三副会長の後任に柳橋が就任した。

昇太会長と柳橋副会長には学生時代からの絆があった。昇太は東海大、柳橋は東京経済大の落研に所属し、某テレビ局の学生落語名人位決定戦に出場してグランプリを争った仲だ。並み居る強豪を退け、二人が最後の選考に残り、僅差で昇太がグランプリ、柳橋は審査員特別賞に輝いた。二人はその時からの仲だ。

柳橋はいったん上場企業へ就職したが、落語をやりたい一心で先代柳橋に何度も弟子入りを懇願したものの、その都度入門を断られた。狭き門だった。そこでキッパリと会社を辞め退路を断ってから改めて弟子入りを願い出ると、「ホントに辞めちゃったの？しょうがねぇなぁ」。さすがの先代も熱意に根負けするしかなく、両親同伴で最終面接の後、昭和57年5月、晴れて七代目春風亭柳橋の一門となり「春風亭べん橋」となった。

昇太もこの年に春風亭柳昇一門に入門を果たしていたから、二人は奇しくも「同期入門」となって、前座を一緒に務めながら助け合った。しかも同じ「六代目柳橋」の「同門」。二人の芸風は対照的に違うがウマが合った。片や「昇太」のまま売り出し現在も名乗っているのに対し、こなた「初代べん橋」→「七代柏枝」→「八代柳橋」と襲名を重ねてきた。この点でも対照的だ。

落語家には襲名制度があって、大名跡は「柳橋」のほかに「文治」「文枝」「柳枝」「文楽」「志ん生」「円生」「小さん」「正蔵」「可楽」「三木助」「金馬」「小南」などなど数多あるが、ごく一部を除いてどんどん襲名されて人が変わっていく。「文楽といえば八代目だろう」というのはその世代をよく知るファンならではの懐古趣味ともいえる。

一方で、名前を自ら大きくした噺家もいる。「米丸」「志ん朝」「円楽」「談志」「歌丸」「鶴瓶」「小朝」「昇太」などは、大御所の名跡ではないが自分の力でこれでもかというほど有名にした。

因みに柳橋が名乗った「べん橋」と「柏枝」はその後弟子が継いでいる。「三代べん橋」は長崎寄席で数年間お世話になったお馴染みの二ツ目・現「弁橋」、「柏枝」は「二代べん橋」から真打になった現「八代柏枝」だ。正確に「○代目」と言わないと、頭の固い古い人間にはややこしい。柳橋一門には、ほかに「かん橋」だった二ツ目「橋蔵」と、「柳家三三」の弟子で「小かじ」だった二ツ目「かけ橋」、それに色物のクラウン芸「びり&ブッチィー」の二人もいる。

その「かけ橋」という芸名は、柳橋の亡くなったお内儀さんが生前に、落語協会から落語芸術協会へ移籍して来たんだから架け橋＝かけ橋なんてどう？と提案したのがきっかけらしい。柳橋に入門して最初の大きな一門の仕事がお内儀さんの通夜葬儀だった。柳橋が前座時代からの恋女房を亡くし身に堪えていた時期だから、甲斐甲斐しく働くかけ橋の存在は大きかったに違いない。三三門下で一度二ツ目になっていたにもかかわらず前座から再出発ということで業界の話題になっていた時期だ。そして去年七月、芸協で再

び二ツ目に昇進した際には、各マスコミや「ヨネスケチャンネル」で大々的に取り上げられて大きな話題になり、本人の実力も相俟って忙しい噺家に成長した。本人の希望もあって旧師三三から柳橋への口利きで移籍、という異色の入門だった。

副会長という仕事は忙しく中途半端だ。柳橋は、昇太会長を協会の顔として、あまり自分は出しゃばらずに女房役を務めるタイプの副会長。とはいえ、会長の代役、冠婚葬祭の付き合い、公益社団法人の雑務などがどっと増えて、時間的にも金銭的にも大変そうだ。

また、漫才・曲芸・音曲系の色物の芸人が新たに寄席に出たいとなった時は協会のどこかの一門に所属する必要がある。小遊三副会長が「ナイツ」などを一門として引き受けたように、柳橋もこのたびクラウン芸の「びり&ブッチィー」を一門とした。ピエロではなく、欧米では確立したクラウン芸というジャンルで、まだ寄席への出番は少ないが、しっかりした芸のある、垢抜けて、洒落てて、お薦めのとっても面白いコンビだ。全体が楽しいショーになっている演出で、見終わった満足度が高く上質な熟練コンビ芸である。長崎寄席ご常連の皆さまも是非ご期待いただきたい。

忙しい中、ラジオNIKKEI「寄席あぷり～みなと芝浜寄席から」という長寿番組のメインパーソナリティも務めた。残念ながらこの春の番組改編でいったん中止にはなったが、ラジオでのちゃんとした落語番組が少ない中で貴重な落語専門番組だった。普段マスコミに出る機会のない若手も含め延べ122名もの協会を越えた噺家たちに出演機会を与えてきたのだ。

近頃のラジオはわざわざ録音設定しなくても、スマホやパソコンの「radiko」という無料アプリの「タイムフリー」という機能で、自分の好きな時間帯にクリアな音質で聞くことができる。全国110局中、「radikoのタイムフリー」では、その時間帯で全国一位の聴取率を出し続ける人気番組だった。大口スポンサーがつけばもっと永遠に続いたかも知れないのだが、ラジオではそれが難しい時代になった。

このように柳橋は、協会の存続と発展、そして業界全体の底上げと調整にも力を入れる立場になって益々多忙な昨今である。男やもめを続けるのかどうかも気になるところではあるがそれはないとみた。

藤井光学は、各種高性能光学系の設計開発および試作から量産まで、
多用なご要望にお応えできる光学設計・製造のプロフェッショナル集団です。

FUJII OPTICAL
藤井光学株式会社
FUJII OPTICAL CO.,LTD.
Designer、Manufacturer of Optical Systems & Lenses

〒171-0052 豊島区南長崎5-9-11☎03-5996-7661

【芸人交遊録／第6回目】

ブラック島田

長崎寄席 世話人 石田 隆則

ブラック島田、またの名を『埼玉県の怪人』…。なぜ怪人かといえば、火のついたタバコを口の中に入れたり出したりするからです。しかも4本同時にやるのですから驚きです。その姿たるや、アニメ『笑ゥせぇるすまん』の喪黒福造そっくりなのです。ふだんはポンチョとソンブレロのメキシコ人スタイルなのですがスタイルも絶品で、一時はやったイタリア映画のマカロニウエスタンの悪役メキシコ人そのもの。お客さんに対しても「おい。金持ってるか。出せ」といって一万円札を借り、「火をつけろ」といったくせに火をつけるのを止めたりします。結局はお札を半分に破いてしまいます。本当に破いてから「もとに戻す」というのです。さて、本当に戻るのかどうは見てのお楽しみ。なのですが、最近は火を使えない舞台が多くなり、たばこの芸や火をつける芸が見られなくなって残念です。

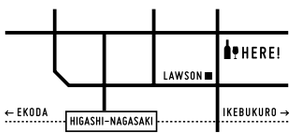
若い頃はマジシャンではなく、歌手になりたくて上京し、ペイント会社の営業をやりながら歌の勉強をしていました。ところが、テレビの公開番組でマジックをやったところ、なんと優勝してしまったのです。こうして歌手になることをあきらめ、マジシャンになってしまいました。あきらめたとはいっても、もちろん歌はとても上手でCDも出しています。車に乗ると必ず聴かされます。

わたしが長崎寄席の出演を交渉したとき、「出演料が安いからいやだ」と断られました。後にも先にも「出演料が安いから」といって断られたのは島田さんとある落語家さんの二人だけです。この落語家さんのことは、また別の機会に書こうと思っています。とはいえ結局はわたしの勝ちで、二人とも安い出演料で出演してもらいました。

その後、もっと高い出演料の仕事を取ってあげたこともあり、島田さんは何回も出てくれました。今ではいろいろな会場でわたしを見ると飛んできてあいさつをしてくれるようになりました。

各病・医院処方箋調剤

漢方相談／東京中医学研究会々員
薬剤師・広田 悦造
(有)ホーム薬局
東京都豊島区南長崎5-10-10
☎03-3951-2869FAX 03-3952-2823

寄席のあと、ちょっと一杯どうですか？
BAR
PUNYPONY
バープニポニ


●月曜日-土曜日
●20:00-26:00
※月曜日は隔週で休みです。
171-0051
豊島区長崎4-13-7

前回の長崎寄席

柳家かゑる・林家まめ平 二人会

［第235回 長崎寄席］
2023年5月27日（土）

●一心太助　一龍齋貞司
●買い物ぶぎ　柳家かゑる
●浜野炬燵　林家まめ平
●漫才　ロケット団
●犬の目　林家まめ平
●幽霊の辻　柳家かゑる

世話人だより

■寒暖差も激しく不安定な陽気の中でしたが、今回も多数の方にご来場いただきました。ありがとうございます。本日は代表の藤井が不在のため、前代表である柴田からの挨拶とともに、第235回長崎寄席、開演です。

■今回は趣向を変えて、前座に講談師をお迎え。張り扇と釈台を持ち込んでいただいて、一龍齋貞司さんによる「一心太助」。一心太助と大久保彦左衛門、そして周囲の人たちを、小気味よい喋りと緩急ついた状況描写で見事に演じます。サゲに向かう最中での大久保彦左衛門の肝の太さを見事に表現する語り口は、見事の一言。そんな力強い表現故になおさら引き立つ、太助のそそっかしさと可笑しさ。張り扇の景気の良い音と併せて、客席を盛り上げる素敵な一席でした。

■メイドイン東長崎。長崎寄席での出会いを機に師匠に弟子入りを志願し噺家を目指した立志伝を皮切りに語られる、柳家かゑるさんの噺家人生録。今年9月には二代目柳家平和の襲名と真打昇進も控えており、その魅力は増す一方。羽織を脱いでメガネを外して語られるのは「買い物ぶぎ」。厄介な客に絡まれた可哀想なドラッグストア店員の姿を、悲哀を込めて表現します。その悲哀さが描かれるほどに可笑しさが込み上げてくると同時に、皆さんも一度は感じたであろうドラッグストアへの思いも笑いに変える、見事な一席でした。

■正蔵師匠独演会以来となる林家まめ平さんも、今年9月に真打昇進を控えての出演。お二人揃って同時期に真打昇進。改めておめでとうございます。「オチを語ると書いて落語という」との語りから始まり、フランスの小咄をひとつ披露。「小咄をしながら今日の噺を探っているんだ」と話しながら選んだ噺は「浜野炬燵」。自作の彫刻への厳しい非難を受けた職人が、母の決死の決意と共に込めた願いを受け見事な観音様を彫り、一人前の彫刻師となる姿を、悲しみと覚悟と決意の様を強く見せつけてくれます。

■仲入。長崎寄席恒例の福引。今回もお菓子や演者の色紙と景品を用意。ご協力いただいている皆様、そして当選した皆様、おめでとうございました。

■今回の色物は、ロケット団の二人による漫才。昨年8月に三浦さんが新型コロナに感染したときの苦労話から始まり、今年上期のWBC振り返りと下期のスポーツイベントが待ち遠しい話。のはずなのに、所々で差し込まれるブラックジョークの数々。気を抜くとここには書きにくいネタが飛び交う、可笑しくも怖い漫才の相変わらずの切れ味。相手をするのが面倒くさい師匠の名がスラスラ出てきてたのはここだけの秘密です。

■後半一席目は林家まめ平さん。前半の人情噺から打って変わって滑稽噺。どんな病状にも葛根湯を出す藪医者の小噺から始まったのは「犬の目」。目医者と患者の眼球治療の会話自体が可笑しく、それ故に目にまつわるダジャレの数々もその笑いに拍車をかけます。最後まで笑いっぱなしとなる愉快な一席でした。

■本日のトリを飾るのは、林家かゑるさん。柳家緑也さんとともに勝浦の落語会に向かった時の怖い話や思い出話に花を咲かせつつ始めた「幽霊の辻」。頼まれた手紙を届けようと、道中の茶屋にいる婆さんに道案内を乞うた結果聞かされ続ける不穏な案内は、ちょっと早い肌寒さを感じさせます。水子池、獄門地蔵、トト追橋、首縊り松、ポックリ寺。ホラースポット一つ一つに怖がる男の滑稽さとホラー描写の恐ろしさという感情の格差を交互に味わわせる見事な一席で、本日の長崎寄席も終演となりました。

電子部品製造
ムサシ電子株式会社
確かな技術で
高い信頼をお届けします
豊島区千早3-12-3
☎03-3959-3351FAX 03-3959-4990

鮎沢歯科医院
☎03-3565-0118
豊島区南長崎5-14-2
バス停前

地域密着の不動産業者
足立土地住宅社
東長崎駅・椎名町駅周辺の
マンション・アパート・駐車場等の
管理、仲介を行っています。
豊島区南長崎5-20-16
☎03-3951-3665FAX 03-3954-2325

住宅建築設計施工／一級建築士事務所
株式会社
岩井工務店
町の工務店です。
住宅の新築・リフォームを主に行っています。
豊島区長崎4丁目17-5
ライオンズマンション東長崎108号
☎03-3957-1456FAX 03-3957-1459

Webもチェック!
<<< 長崎寄席Webサイト
長崎寄席twitter >>>

福祉に関することでお困りの時は何でもお気軽に
みんなで支え合う暮らし・みんなの街
地域福祉研究会
ゆきわりそう
〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-21-7
☎03-3565-3859

せき・こえ・のどに「浅田飴」
【効能・効果】せき、たん、のどの炎症による声がれ・のどのあれ・のどの不快感・のどの痛み・のどのはれ
4種類の生薬（キキョウ、トコン、マオウ、ニンジン）がせき、たん、のどの諸症状に効果を発揮します
cool　nikki　passion
浅田飴 クールs/ニッキs/パッションs
第2類医薬品
これらの医薬品は、薬剤師、登録販売者に相談のうえ、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。
https://www.asadaame.co.jp/　〒171-0052　東京都豊島区南長崎 3-1-5

優良菓子卸
柴田商店
小売も始めました
○ 菓子袋詰め、進物
○ 紀州梅干
豊島区南長崎5-3-13
☎03-3951-5933
FAX 03-3951-5483

次回告知
第237回 長崎寄席
古今亭始・春風亭昇羊
鏡味味千代（太神楽曲芸）
2023 9月30日(土)
開場／17:00開演／18:00
会場／ひびきホール
まいばすけっと3F
・西武池袋線東長崎駅から徒歩4分
・都営大江戸線落合南長崎駅から徒歩8分
当日一般：2,000円
前売り・予約：1,800円
常連会員：1,500円
中・高校生：500円
小学生：無料
ご予約方法
●インターネット
https://nagasakiyose.jimdofree.com/
上記から「お問い合せ」をクリック。もしくは右記のQRからアクセスしてください。
●電話
☎080-3386-2952
長崎寄席世話人会（藤井）